

かんきょう 取言方

第1号 令和3年3月20日発行

諏訪学区環境保全委員会
発行責任者 持田幸雄
諏訪交流センター内
電話 (33)3841

はじめに

諏訪学区コミュニティでは突然の県知事発表以来、地域での受け皿がなく住民説明会やその他地域住民が産廃問題に対し、極力偏らない正しい知識をもって判断できるような支援を行うことも諏訪学区コミュニティの役目ととらえ活動してきました。

住民説明会やエコフロンティアかさまの見学会が一段落したのを機に昨年12月1日より諏訪学区環境保全委員会を立ち上げ産廃問題を中心に活動することになりました。今回は第1号をお届けします。

3月の出来事(学区内を中心に)

- 1日 県事前説明会(第5回 拡大環境保全委員会)
- 3日 県事前説明会(拡大自治会長会議)
- 6日 県フォローアップ説明会(諏訪学区)
県フォローアップ説明会(多賀地区1)
- 7日 県フォローアップ説明会(多賀地区2)
- 13日 県フォローアップ説明会(日立市全体1、2)
- 17日 日立市議会 新産業廃棄物最終処分場整備 特別委員会 傍聴

フォローアップ説明会より

住民がこれからも安全安心、快適に暮らせるために

信頼醸成 (県と住民)	<u>*情報公開と双方向コミュニケーション</u> ○評価できる点 フォローアップ説明会を設け、住民の声を再度聞く機会をつくったこと 住民の理解が深まれば深まるほど、間違った情報や誇張された情報に惑わされることなく自分の考えで行動できること * 諏訪学区ではフォローアップ時の資料を全世帯(2500部)に配布 ○要望したい点 コロナ禍で会場に行けなかった方の声にも丁寧に回答し続けてほしい(メール、電話、FAX)
道路・ 交通安全	○評価できる点 多くの意見や要望を取り入れ、新設道路を整備すること。新設道路は産廃搬入車両だけでなく一般車にも共用できるため、便利になると思われる。そして原則として新設道路が開通するまでは処分場への搬入を行わないこと ○要望したい点 処分場建設工事中も梅林通りを使わないでほしい(沿道住民の不安が大きい)
施設・ 環境衛生	○評価できる点 中間処理施設は整備しないことを県の方針にしたこと 周辺環境への影響に関する中間結果を公表したこと ○要望したい点 今後、これらの結果を基に、必要な追加調査を実施して住民が安心できるよう公表してほしい(特に水質)
地域振興	○評価できる点 大平田地区の大変な思いを受け止め、要望のあった上水道、下水道、及び地域内の道路や防犯灯などの整備、鮎川や諏訪梅林の整備。産廃用新設道路とは別に地域内の交通安全の向上のために油縄子交差点から建設候補地までの危険箇所などの改修が明記されたこと ○要望したい点 今後も丁寧に住民の声を聴きながら具現化してほしい



新設道路予定地を歩いてみました



建設予定地を見下ろす



高速道路高架下



穴鍾乳洞

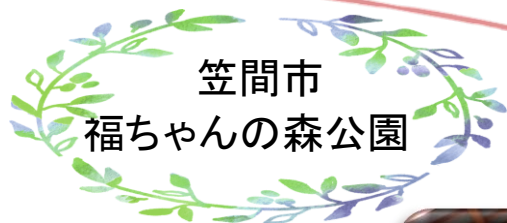


大久保林道



中丸団地付近

図1.1 道路整備計画案



エコフロンティアかさまの地域振興事業として整備された公園



アーチ大屋根



バーベキュー施設



集会所



遊具のある公園

編集後記

全世帯に配布するフォローアップ説明会資料を読んで、不安や気づいた点があれば県に伝えることが大切です。

安全安心で住みやすい暮らしを守るために、一人で悩まず、地域の知恵を結集し、状況を改善していきたいものです。

